

登録コード	MA004500	開講年度	2026			
授業科目名	遺伝医療と倫理				担当教員	古庄 知己
英文授業名	Genetic Medicine and Ethics				副担当	高野 亨子・中村 勝哉
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	不定期	対象専攻／学年
講義室			授業形態		授業科目区分	
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】 授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇄					
	MS 2 6 カリ (医科学)・医科, MS 2 5 カリ (医科学)・医科, MS 2 4 カリ (医科学)・医科, MS 2 3 カリ (医科学)・医科					
	【医科学】 基礎医学および臨床医学に対する基本的知識、技能および技術を修得し、自主的に検討することができる。 ⇄					生命倫理学の基礎および遺伝医療における倫理的諸問題を理解し、自ら考え対処できる。
(2)授業の概要	・ 生命倫理学セミナー（講義、演習）					
(3)達成目標（一般学習目標 G I O）	・ 生命倫理学・医療倫理学の基本、代表的なトピック、倫理問題解決のための方法論を学ぶ。					
(4)達成目標（個別行動目標 S B O s）	・ 生命倫理学・医療倫理学の基本原理を概説できる。 ・ 生命倫理関係の代表的トピック（重篤な小児疾患、出生前診断、生殖補助医療、発症前診断、最先端技術、死生学、脳死と臓器移植、研究倫理、ゲノム解析など）の歴史・現状について概説できる。 ・ 遺伝医療・遺伝カウンセリングの現場でおきる倫理問題解決のための方法論とその実践法を概説できる。					
(5)授業計画	・ 「生命倫理学セミナー」（講義、演習：1時間x30回/2年）					
(6)授業の進め方	・ 講義、演習					
(7)履修上の注意 ・ 事前事後学習の内容	・ 担当教員より指示					
(8)成績評価の方法	・ レポート：可以上					
(9)成績評価の基準	・ レポート：(i) 問題の設定が適切であり，(ii) その問題の背景を説明できており，(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており，(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており，(v) その上で自分の見解を提示できており，かつ，教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」。(i) から (v) の 5 項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」。 4 項目までできていれば「やや上にある（良）」。3 項目までできていれば「水準にある(可)」。					
(10)学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	古庄 知己 他 遺伝医学教室（内線5207）					
【テキスト，教材，参考書】	【教科書】 ・ はじめて出会う生命倫理、玉井真理子編、有斐閣					